

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。

**部活動の成果と学園祭の軌跡
 巨摩高100年の伝統を継承して**



**ひたむきに打ち込んだ夏を越え
 実りの秋を迎えました**

特集...Special edition

- 全国大会・関東大会での躍動／新生徒会発足
- 「百年一剣」第68回白嶺祭／秋の体育祭
- エネルギー教育推進事業／櫛形山研修／教頭あいさつ



令和4年度
櫛形山研修

7月27日(水)2年の理系生物選択者を対象に、本校の伝統行事の一つである令和4年度の櫛形山研修が実施されました。フィールドワークによって生きた自然科学を学びながら、小学生に説明や指導を行うことで科学の素養やプレゼンテーション能力を養いました。研修に参加してくれた小笠原小学校、豊小学校の約20名の児童の皆さんが自然科学の魅力を感じ取ってもらえていたら幸いです。

**エネルギー教育推進事業
 日本科学未来館研修**



9月21日(水)本校の創立記念日を利用して、理数創造コースの生徒たちが日本科学未来館への校外研修に出かけました。コロナ禍で2年間中止を余儀なくされてきましたが、今年度は無事に実施することができました。生徒たちは地球の仕組みを乱さない循環エネルギーの実現方法を学んだことで、将来のエネルギー供給のあり方を考えるきっかけを持てたようです。

非常に長い距離を移動しています。群れをよく観察していると、隊列を成し「V字」を形成していることが分かります。なぜでしょうか。雁の翼の斜め後方には渦状の上昇気流が発生します。その気流に乗ることで、後ろの雁はエネルギーの消耗を抑えることができます。つまり、雁はV字形態によって、互いに支え合い、体力を温存しながら命がけの長旅に挑んでいるのです。

飛行中は、常に危険と隣り合わせです。全員で生き残るため、隊列がばらばらにならないよう双方方向のコミュニケーションを頻繁に行い、互いの意思や周囲の安全を確かめています。あうんの呼吸で、まるで一つの塊のようなチームワークを見せている雁ですが、実はこのV字の群れは複数の「家族」や「つがい」の集まりによって形成されています。

皆さんは寒風の中を飛ぶ雁(かり)の群れを見たことがあるでしょうか。何気なく飛んでいるように見える雁ですが、実は群れで飛んでいる雁は、互いに励まし守りあうコミュニケーションもありません。V字は単独では作れないのです。

皆さんは、たった一人で学校生活を送っているわけではないかもしれません。授業の中で多くのクラスメイトと共に学んだり、多様な行事や部活動に参加したりすることで、視野を広げ、自己を豊かにし、物事に挑戦する力を伸ばしています。仲間と共に挑戦することにはワクワク感があります。途中つらくとも継続することで成長し、やり切った後にはいままてにない景色が広がります。皆さんが、本校での学習を通して挑戦する力を身に付け、「チーム」の一員として自己の志を実現することを大いに期待します。

kyoutou sensei kara
Hi-To-Ko-To
 ととと
V字の実践
 教頭 輿石 登

皆さんは寒風の中を飛ぶ雁(かり)の群れを見たことがあるでしょうか。何気なく飛んでいるように見える雁ですが、実は群れで飛んでいる雁は、互いに励まし守りあうコミュニケーションもありません。V字は単独では作れないのです。

皆さんは、たった一人で学校生活を送っているわけではないかもしれません。授業の中で多くのクラスメイトと共に学んだり、多様な行事や部活動に参加したりすることで、視野を広げ、自己を豊かにし、物事に挑戦する力を伸ばしています。仲間と共に挑戦することにはワクワク感があります。途中つらくとも継続することで成長し、やり切った後にはいままてにない景色が広がります。皆さんが、本校での学習を通して挑戦する力を身に付け、「チーム」の一員として自己の志を実現することを大いに期待します。

No.036
 巨摩高百景

「校舎北端の一隅より」
 巨摩高校の放送室は、3号館の4階、LL教室の前にあり、学校行事で使う音響機材などがたくさん保管されています。昼休みには、視聴覚委員が流行りの歌を流すなど、巨摩高生に安らぎの時間を供給する場所です。皆さんも楽しい音楽を聴きながら、放送室の中の様子を思い浮かべてみてください。

写真部 中込 透也
 (白根巨摩中学校出身)

巨摩高だより
KOMAstyle VOL.68

- 発行...山梨県立巨摩高等学校
 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
 TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日...令和4年11月1日
- 編集...山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
- 撮影協力...山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!
 巨摩高校 検索 URL...http://www.ko.kai.ed.jp/
 E-mail...info@ko.kai.ed.jp

全国大会・関東大会での躍動



ホッケー部

全国高等学校総合体育大会ホッケー競技 ベスト8
同大会優秀選手 永沢はいじ(白根御勅使中学校出身)
同大会優秀選手およびU-18日本代表選手
飯野百合那(白根巨摩中学校出身)
関東高等学校ホッケー大会 準優勝
第77回国民体育大会 出場(関東ブロック代表)

部長 飯野 百合那(白根巨摩中学校出身)

私たちホッケー部は、全国ベスト4を目標に日々練習に励んできました。今年は、ホッケー部のOGチームとの練習試合だけではなく、春のリーグ戦にも参加することができ、多くの経験を積むことができました。また日々の練習でも、先生やコーチの指導のおかげで、チームとして着実に力をつけることができました。



関東大会の目標は優勝だったのですが、勝ち切ることができず悔しい思いをしました。この気持ちを忘れないよう、インターハイに向けて練習に励みました。結果はベスト8で、18年ぶりの功績ではありますが、目標を目の前にして勝ち切れなかったことには、関東大会同様、悔いが残っています。

国体、全国選抜大会に向け、時間が限られている中で質の高い練習をし、今度こそベスト4を勝ち取りたいと思います。

陸上競技部

関東高等学校選抜新人大会 出場(男子・女子)

男子部長 中込 志弥(田富中学校出身)



私たち陸上競技部は、10月22、23日に関東高校選抜新人大会に出場しました。県新人大会では男子総合2連覇、そして男女アベック優勝を目標として練習を続けてきました。夏から新体制となった私たちですが、やはり先輩がいた時とは違う空気感でやっていくことに対する不安や、伝統校、昨年の優勝校としてのプライドやプレッシャーなどがありました。しかし、そうした中でも皆で支え合い、充実した練習ができ、男子総合2連覇、女子も少数ながら準優勝と良い結果を出すことができ、一安心しました。さらに10月末の県高校駅伝も優勝を目指して頑張ることができました。

私たちはこれから冬期練習に入っていきます。来年の総体・新人戦・駅伝で強い巨摩高校陸上競技部をたくさん見せることができよう頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

音楽部

全国高等学校総合文化祭 出場

副部長 内藤 杏美(櫛形中学校出身)



私たち音楽部は、前年の11月の芸文祭で優秀賞を獲得したため、山梨県合唱団の一員として、8月に東京芸術劇場で行われた総文祭に出場して参りました。1年前は、3名で活動しており、そのメンバーも生徒会や運動部と兼部して全員そろって練習する時間が限られており、苦難もありました。しかし、短時間で質の高い練習を心がけ、互いに声をかけ、励まし合い、主体的に練習した結果、代表に選ばれ、全県の合唱部員のみならず、迫力ある歌声を披露して参りました。昨年は、コロナ禍で、練習もままならず、大会も縮小化される場合が多かっただけに、東京の素晴らしい劇場の舞台に立てたのもとても嬉しいことでした。これも指導して下さいました先生方や、11人に増えた部員の励ましに感謝し、これからの活動もより一層力を入れていこうと思います。

弓道部男子

関東高等学校弓道大会 男子団体 出場
(齊藤康暉・小野塚琉之佑・澤登楓河・藤巻優芽)

「大切な存在」

団体代表 小野塚 琉之佑(若草中学校出身)



私は6月の総体で上位入賞を果たし、神奈川県海老名市で行われた関東弓道大会に出場しました。

初めて経験する大きな大会ということもあり、不安や焦りが募り、自分の射ができずに気持ちが負けてしまいそうになることもあり、大会当日も、会場の異様な空気とプレッシャーに飲み込まれそうになりました。しかし、そんなときに私を支えてくれたのが、共に切磋琢磨してきた仲間との存在でした。励まし、鼓舞してくれた仲間を想いながら臨むことで落ち着いて自分の射をすることができました。結果は予選敗退という形になりましたが、悔いの残らない射ができました。

共に戦い、支えてくれた仲間へ心から感謝しています。同じ道場で弓道ができたことを誇りに思います。本当にありがとう。

巨摩高生の夢舞台

「百年一剣」第68回白嶺祭



白嶺祭を終えて

学園祭実行委員長
吉田 紫月世(白根巨摩中学校出身)



今年度の白嶺祭は昨年度同様、規模を縮小しての開催となりました。新型コロナウイルスという見えない敵の中での実施は不安もありましたが、大成功という形で終了することができました。白嶺祭終了後、「楽しかった」といった声を聞くことができ、実行委員長としても安心しました。クラスパフォーマンスをはじめ、個々の企画において、各クラスそれぞれの色を知ることができ、ステージ上で楽しそうに笑顔でパフォーマンスを行う生徒の皆さんを見るのが嬉しかったです。コロナ禍はまだまだ終わりの見えない状況ですが、来年度も今年度と同様にクオリティの高い学園祭にしたいと思っています。白嶺祭を無事に終えることができたのは、沢山のサポートがあったからです。本当にありがとうございました。

完全優勝

3年4組 理事
伊藤 向日葵(若草中学校出身)



私たち3年4組は、白嶺祭において全ての部門で1位を獲得し、高校生活最後の白嶺祭を「完全優勝」で締めくくることができました。昨年の3年6組に続き、このような素晴らしい結果を残すことができると嬉しかったです。この結果の裏側には、各部門のリーダーとして準備してくれた仲間、そしてそのリーダーに協力して積極的に動いてくれた仲間の頑張りがあります。全員で一つの目標に向かって進んでいくことで指示を出してみんなをまとめてくれるリーダーの存在は大きいと思いますが、私はそのリーダーに協力する周りの人の力もすごく大切だと思います。それぞれが自分の役割を理解し、クラスのために動いてくれたから、このような結果を成し遂げることができたのだと思います。3年4組のみんな、有難う。そして、お疲れ様でした。

百年の白嶺祭

前生徒会長
井上 万夕(若草中学校出身)



皆さん、こんにちは。前生徒会長の井上万夕です。

第68回白嶺祭は創立百周年にあたる学園祭となりました。開演するまでは不安で一杯でしたが、皆さんの協力や盛り上げのおかげで、無事成功させることができました。感染症対策で今年も規模は縮小せざるを得ませんでしたが、皆さんの最高の笑顔と団結するひたむきな姿に出会うことができ、運営した生徒会役員一同、幸せな気持ちになりました。普段なかなか見ることができない友人たちの個性を感じることができてとても楽しかったです。

今回の白嶺祭では、成功できた部分もあれば、改善すべき部分もありました。今年の反省を引継ぎ、来年の白嶺祭は皆さんがより楽しめるものにしていきます。新生徒会スタッフへのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

秋の体育祭を 実施しました!!

9月13日(火)本校グラウンドで体育祭が行われました。秋空の下、カラフルなクラスTシャツに身を包んだ生徒たちは、2人3脚や玉入れ、障害物競争、借り物競争、クラス対抗リレーと、元気がいっぱい競技を楽しみました。午後の部活動対抗リレーには、体育局はもちろん文化局も参加して、各部で演出を凝らした楽しさ溢れる競技となりました。



新生徒会 発足!

9月9日(金)の生徒会役員選挙の結果、新生徒会長にはフナキ夏恋さん(八田中学校出身)、新副会長には中川心那さん(櫛形中学校出身)と仲井響樹さん(甲西中学校出身)が選出されました。

新生徒会を代表して

生徒会長 フナキ 夏恋(八田中学校出身)



(左から中川さん、フナキさん、仲井くん)

生徒会長を務めさせていただくことになりましたフナキ夏恋です。今年度上半期は生徒会副会長として、先輩方の一生懸命に頑張る姿と、生徒会活動への熱い思いに触れ、多くのことを学ぶことができました。今度は私たちがその思いを受け継ぎ、学校の中心となっていかなければなりません。まだまだ私たちにはできること、やらねばならないことが沢山あります。生徒会が窓口となって、全校の声が届く高校になるよう、新生徒会役員一同、日々努力を重ね、全力で頑張っていきたいと思っています。1年間よろしくお願ひ致します。